

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 松浦 猛 (関根 茂雄)	内線	4003 (4014)
------	----------------	-------------------------	---------------------------	----	--------------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	約20億円
		経営体育成基盤整備事業	市西地区	内用地補償費	0.3億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
三原郡三原町市市、三条、新、志知中島			H16	H16	H20
事業の目的			事業内容		
効率的かつ安定的な担い手を育成し優良農地の維持確保を図るために必要となる農業生産基盤の整備を実施する。			区画整理 74.4ha 農業用排水施設 6.6ha 負担割合 (国50% 県27.5% 町15.0% 地元7.5%)		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性		当地区は、水稻の他タマネギ、レタス等が盛んに生産され、県でも有数の農業地帯であるが、現況の農地は小区画（平均6a）・不整形で、道路、用排水路も未整備なため、高齢化する農業従事者にとっても多大な労力の負担となっている。 このような状況の中、受益者・町の強い要望を受け、早急にはほ場整備を実施し、区画形質の改善、用排水路、農道等を整備し、農作業機械の大型化による生産性の向上を図るとともに、裏作野菜の作付増等更なる農地の高度利用を図り、効率的、安定的な担い手（認定農業者）を育成していく必要がある。			
(2)有効性・効率性		費用便益比 B/C = 1.42、所得償還率11.6%であり、事業としての効果が期待でき、農家負担も低く抑えられている。 同意率 100.0%			
(3)環境適合性		既存コンクリート畦畔等を道路路盤材としてリサイクル活用する他、再生砕石等を積極的に用いる。 地区内に点在しているため池において、排水路からの流入部に水生植物帯を創出し、水質浄化の向上にも努めるとともに、身近な生物相の生育空間を創出する。			
(4)優先性		地域の懸案であった狭小な幹線町道3路線の用地を創設しほ場整備と一体的に整備を図ることにより、効率的（コスト縮減等）な事業執行が可能となる。			